



生理用品の学校施設女子トイレ個室への設置を
市に働きかけることを求める陳情

【陳情項目】

生理用品の学校施設女子トイレ個室への設置を市に働きかけてください。

【陳情理由】

新日本婦人の会は、生理用品の学校への配布、相談環境の整備、現在、保健室での貸与になっている生理用品を、学校施設の女子トイレに設置してほしいと、文科省や内閣府をはじめ、各地の教育委員会、自治体に要請してきました。

いま全国各地にとりくみが広がり、「女性の健康や尊厳にかかわる重要な課題」(政府「女性活躍・男女共同参画重点方針 2021」)として位置づけられ、学校の女子トイレへの生理用品の設置がすすんでいます。

生理には、いまだ負のイメージが根強くあり、生理用品がなくて困っていることを言い出しにくい状況があります。生理中は、生理痛や心身に不調をきたす人もいます。生理用品をトイレットペーパーと同じように、いつでも入手できる環境を整えることは、学びの環境整備です。

子どもたちが安心して通学でき、心も身体も健康で衛生的な生活が保障されるために、経済的、心理的負担を感じることなく生理用品を入手できるよう、学校施設女子トイレ個室への設置を市に働きかけることを求めます。

2022年6月1日

1049

藤沢市藤沢大矢ビル 2F-B
新日本婦人の会藤沢支部
支部長 望月 知子



藤沢市議会議長

佐賀 和樹 様